

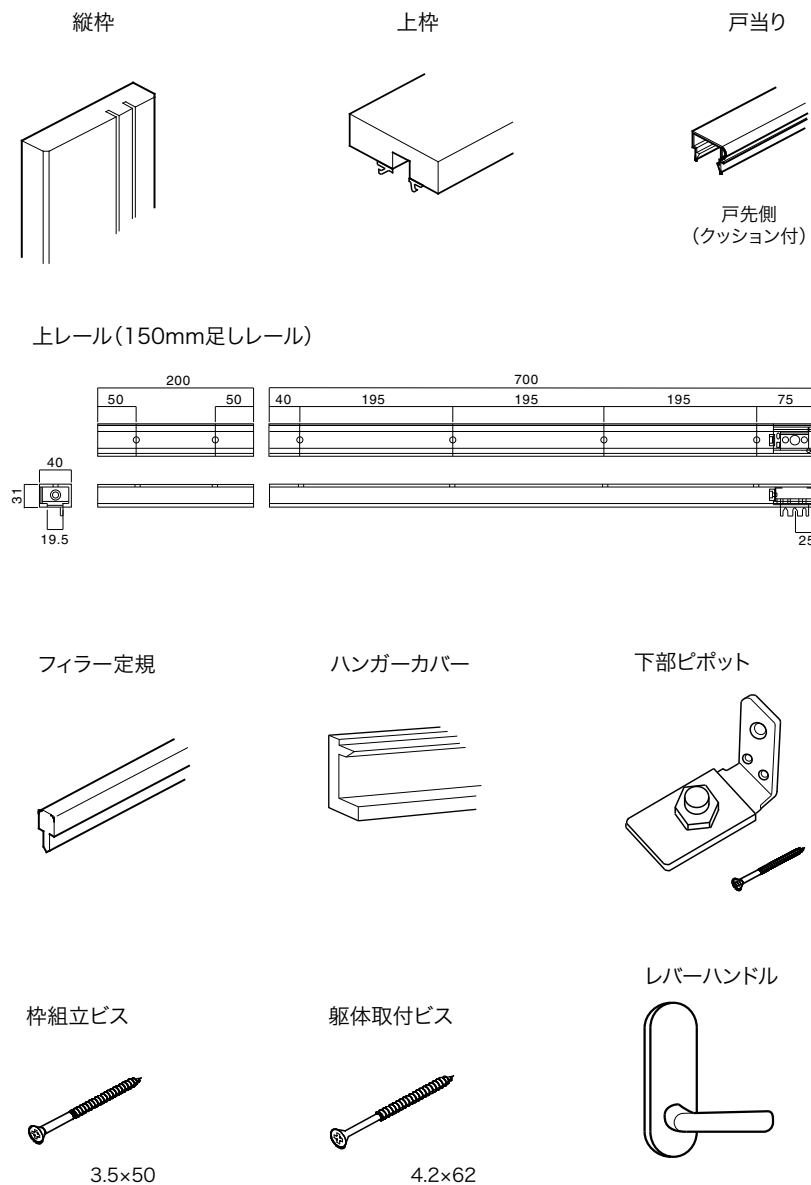
ハートフル 自閉式折戸ドア

このたびは、AK製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

⚠ 施工にあたってのご注意

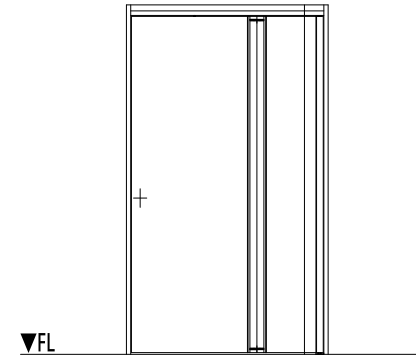
- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付けをしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 照明灯などの熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1 m以上離して作業してください。

	部品名	数量
杵	縦杵	2
	上杵	1
	戸当り 戸先側(クッション付)	1
	戸当り 吊元側(クッション無)	1
	ハンガーカバー	2
	上レール① 150mm足しレール	1
	上レール②	1
	上レール取付ビス(皿タッピング 4.5×25)	5
	フィラー定規	1
	下部ピボット(ビス付)	1
	六角レンチ	1
扉	杵組立ビス(皿木 3.5×50)	4
	躯体取付ビス(皿木 4.2×62)	16
	折戸	1
	吊車(取付済)	1
	レバーハンドル	1

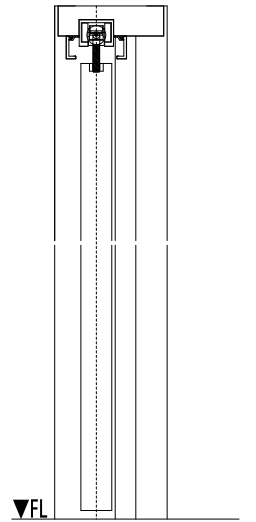


納まり図

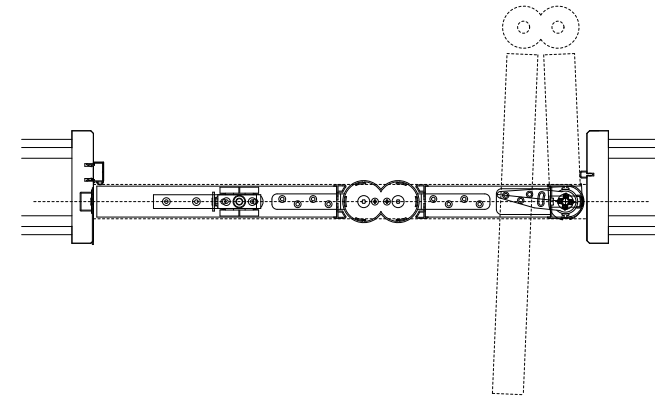
姿図



縦断面図



横断面図



取付け順

1. 枠の組立て・取付け

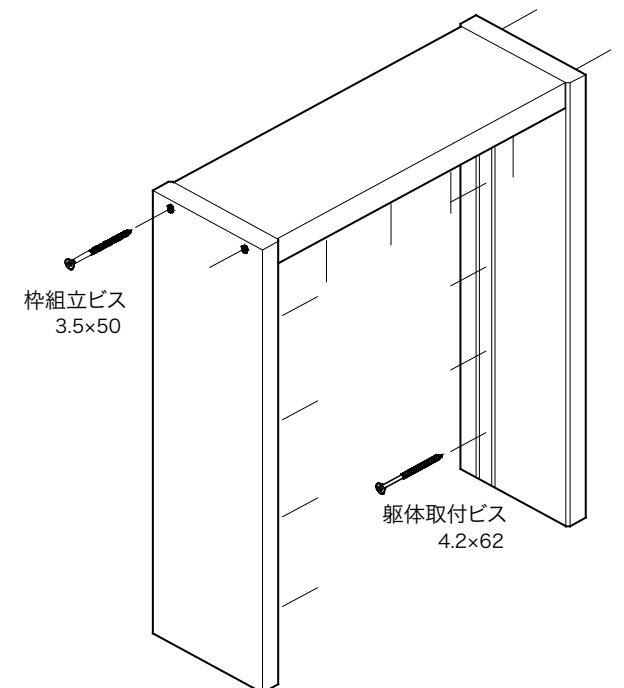
- ① 枠組立ビスで枠を組み立ててください。
枠にはビスのリード穴があります。

◆桝組立ビス 皿木 3.5×50…4本

- ②躯体取付ビスで枠を躯体に固定してください。

◆躯体取付ビス 皿木 4.2×62…16本

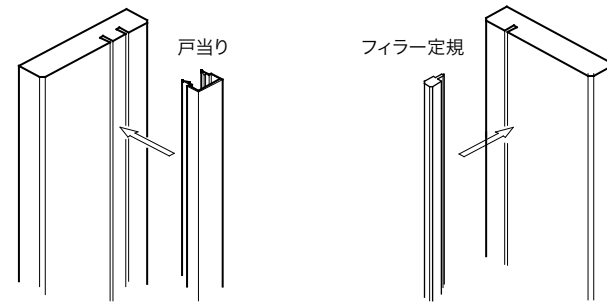
注意 垂直・水平を必ず確認し、ねじれ・傾き・変形などないよう施工してください。



2. 部品の取付け

《戸当り・フィラー定規の取付け》

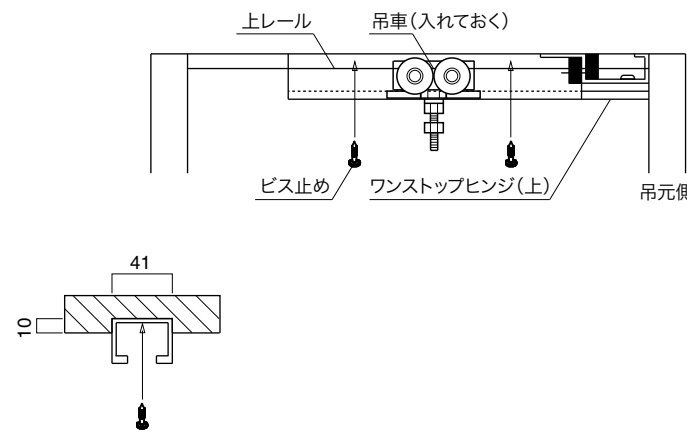
- ①縦枠(戸先側)に戸当りを打ち込んでください。
- ②縦枠(戸尻側)にフィラー定規を打ち込んでください。



《上レールの取付け》

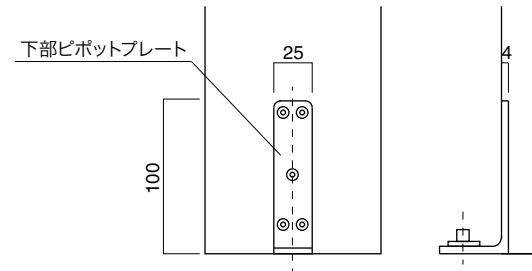
- ①上枠にはあらかじめ幅41mm、深さ10mmの溝加工をしておきます。
- ②取付金具のついている方が吊元です。上レールを上枠溝に入れビス止めしてください。

注意 足しレールは扉吊込み後に装着(固定)しますので、大切に保管しておいてください。



《下部ピボットの取付け》

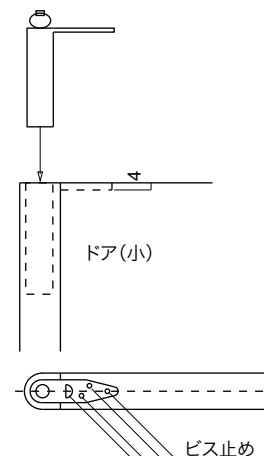
- ①吊元側縦枠の下端部に、下部ピボット金具を取り付けてください。



《ワンストップヒンジの取付け》

- ①ワンストップヒンジをドア(小)上部に差し込み、ビスで固定してください。

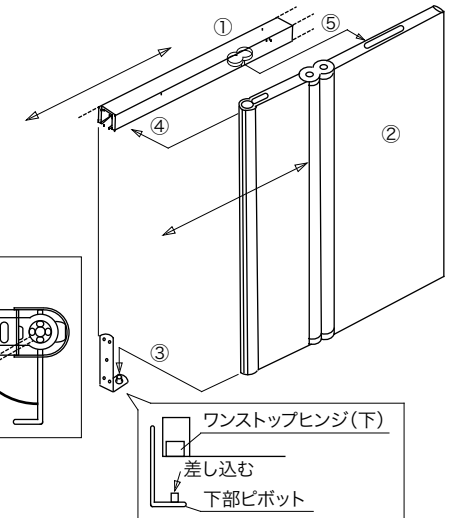
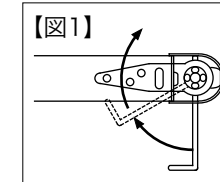
※位置調整をする場合は先に長穴1箇所のみビス固定します。



3. 扉の吊込み

《吊込み》

- ①上レールの中に吊車をあらかじめ入れておきます。
- ②扉を広げた状態にします。
- ③下部ピボットへ扉吊元側下のワンストップヒンジを差し込んでください。
- ④吊元側扉とレールを平行にし、ワンストップヒンジ本体の六角シャフトピンを吊元側上部固定金具の穴に位置を合わせ、円盤型速度調整金具を図1の方向に回しながら差し込んでください。
- ⑤扉を完全に閉まった状態にし、吊車のボルトを扉上部のランナーアームに締め付けてください。
- ⑥上レールの中にエアードンパーを差し込み、足しレールをビス止めしてください。



《扉の高さ調整と動きの確認》

- ①上レール下部と扉上端部の隙間を20mmにしてください。
- ②吊車の高さの調整はアジャスタナットを回して行います。アジャスタナットが回しにくい時は付属のレンチでボルトを回します。
- ③扉の動きを確認しながら扉との隙間を調整してください。
- ④吊車でドア(大)の荷重を受けているか、浮きがないかを確認してください。

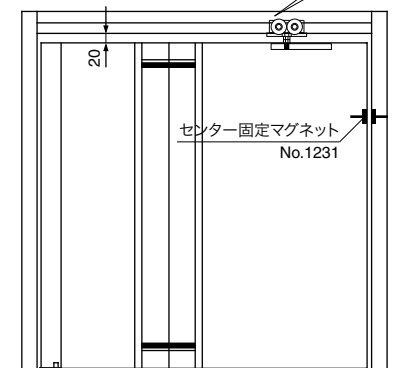
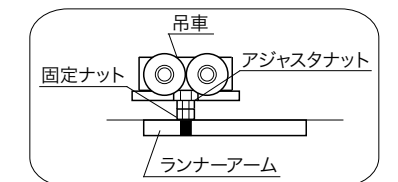
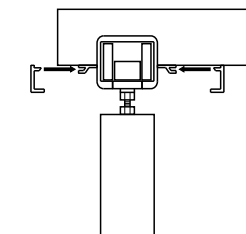
※調整後、固定ナットを緩まないようによく締めてください。

- ⑤センター固定マグネットを枠及び扉に各1個取り付けてください。(取付け高さは自由)

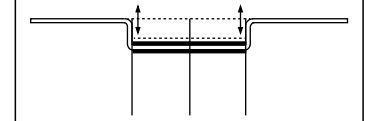
- ⑥開閉動作の確認をしてください。
(閉速度はワンストップヒンジで調整)
(ブレーキ調整はエアードンパー)
(閉時のセンター固定マグネット機能の確認)

《ハンガーカバーの装着》

注意 ハンガーカバーが蛇行しないようにしてください。



注意 連結ギア(上下カバー) 水平度確認



施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆全ての部品が取り付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
- ◆取付けネジが所定の位置に取り付けられているか確認してください。
- ◆ネジのゆるみや枠のガタつきがないか確認してください。
- ◆扉の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。

＜お手入れ方法＞
●お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れを落とし、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
●シンナーなどの溶剤や強い洗剤を使用しないでください。
●ペンキ・グリース・油・パテなどが付着した場合は、速やかに拭き取ってください。